

相談支援センターだより

秋田大学医学部附属病院
相談支援センター 発行
第11号平成22年4月13日

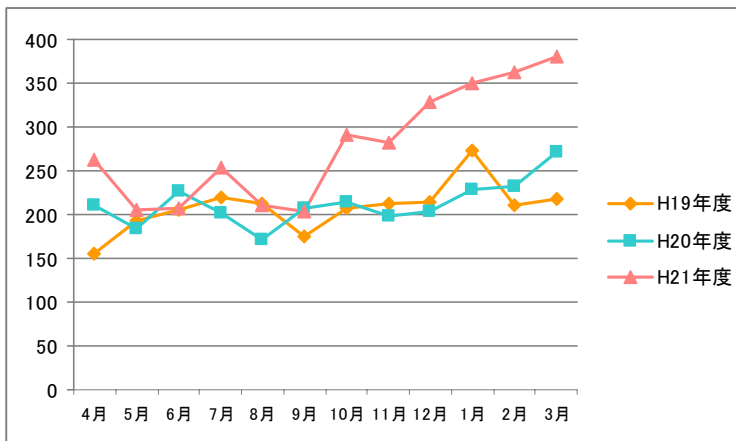
ご挨拶

相談支援センター長 廣川 誠

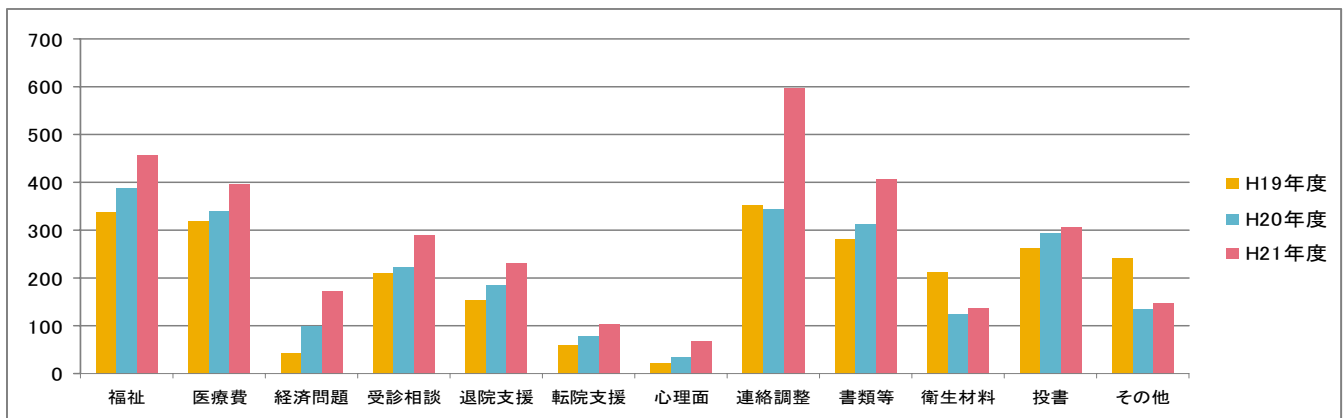
相談支援センターは平成19年6月に地域連携室部門、医療相談室およびがん情報提供部門の3部門が統合されて発足いたしました。これらの3つの業務に加えて、医療提供者と患者さん・ご家族とのコミュニケーションを大切にするというポリシーのもと、豊島前センター長は投書に対する回答に力を注いでこられました。病院への信頼を一層厚くするために、その意志を引き継いでまいりたいと思います。5大がん（胃・大腸・肝・肺・乳房）の地域連携クリティカルパスの整備ががん診療連携拠点病院の指定要件に盛り込まれていることに加えて、今年度の診療報酬改定で地域医療連携に対する手当がなされていることからみても、地域医療連携が社会的のみならず病院経営上も今後ますます重要になることは明らかです。医療提供機能の最適化を目指して、診療科はもちろん、看護部、中央診療部門および事務系職員の皆様とともに知恵を絞ってまいりたいと存じますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

【活動状況】～月別相談件数推移と相談内容について～

平成21年度の新規件数は3,335件でした。年々増加傾向にあり、平成19年度と比較すると約2倍になっております。特に院内・外との連絡調整・情報提供、種々の福祉制度・書類の説明、医療費、受診相談等に関する相談が多い傾向にあります。



また、退院支援は依頼票を通じて院内スタッフからの依頼方法が定着傾向にあり、早期から支援が可能となっております。投書による患者さんからのご意見・ご要望も年々多く、患者さんが安心して治療を受けることができるように、また一日も早く住み慣れた地域に帰ることができるよう支援していきたいと思えます。今年度も引き続き相談支援センターを活用してください。



「皆さんのご意見・ご要望」より

当院をご利用になる皆様の声を一部掲載させていただきます

ケース1：午前の入院予約で10時入院したのに昼食がなかった！！「夕からです。売店から買って食べてください」ひどい対応だなあ

回答：入院病棟スタッフの対応で不快な思いをされたことについてお詫び申し上げます。本来事前に入院の予約が決まっている患者さんには、入院直後の食事から提供できるようにしております。この度は準備の不手際で昼食から提供できなかったと思われます。今後はこのようなことがないよう細心の注意をしていきます。また患者さんの対応には充分配慮できるよう指導していきたいと思います。この度どこの診療科に入院したのかわかれば、直接スタッフの方へ指導して参りたいと思いますのでお知らせ下さい。

“わからないこと” “相談したいこと” は 相談支援センターをご利用ください。

例えば

- 1 医療費の支払いや経済的な不安について
- 2 介護保険などの福祉サービスについて
- 3 障害年金などの社会保障制度について
- 4 退院・転院についての不安や悩み
- 5 セカンドオピニオンについて
- 6 がんの治療や療養生活の不安について



※お気軽にご相談ください。秘密は厳守いたします。

相談支援センター担当者紹介

4月から新メンバーを迎え活動しております。

相談支援センター長	廣川 誠 (病院教授)	副センター長	今野 笑子 (看護師長)
副センター長	後藤 隆 (准教授)	副看護部長	大塚 悦子
GRM	佐藤 幸美 (看護師長)	MSW	小川 江美
看護師	古井 明美	MSW	下間 愛
MSW	金子 幸太	医療サービス室	佐藤 恵美
医療サービス室長	森田 康幸	医療サービス室	藤田 大和
医療サービス室	佐々木 恭子		
相談支援センター	内田 隆子		

編集 後記

ようやく秋田の長い冬が終わり、待ちに待った春がやってきました。新年度も始まり期待もありつつ、ちょっぴりソワソワしたりして何度めぐってきても春は新鮮なシーズンです。